

令和5年度

自己評価表（結果集計と昨年度との比較）

学校番号	12	清水国際学園 清水国際高等学校
------	----	-----------------

今年度の重点目標		今年度の達成目標		令和5年度				令和4年度			
				今年度の評価				昨年度の評価			
				A	B	C	D	A	B	C	D
1	基本的な生活習慣と学習習慣の確立をめざす。	欠席・遅刻・早退の減少と授業態度の向上を目指す。	9	19	6	1	5	23	8	0	
2	保護者・地域社会に開かれた教育活動の実践。	保護者・地域住民その他の関係者との理解を求める。	3	19	12	0	4	15	13	3	
3	効果的な学校運営。	各分掌間の連携と職員の共通理解による教育を図る。	3	18	11	3	4	13	14	5	
		合計	15	56	29	4	13	51	35	8	

領域	ねらい	評価項目	達成目標	令和5年度				令和4年度			
				今年度の評価				昨年度の評価			
				A	B	C	D	A	B	C	D
教科指導	基礎・基本の確実な定着と個性を生かす教育の充実	授業改善の推進	解りやすい授業、興味を・関心をもてる授業の展開を図る。	6	27	1	0	9	19	6	0
		個に応じたきめ細かな指導	習熟度別指導や課題学習の実施。	8	16	9	0	5	17	10	2
		補習授業の実施	進路に向けた学力向上と、分からないことを放置しない体制。	9	14	9	0	7	16	9	1
		授業形態や機材の工夫・改善	視聴覚・教育機器などの教材・教具の活用を図る。	14	19	0	0	9	21	3	0
		自主的な学習	予習・復習を自発的に行う生徒の育成を図る。	3	17	10	2	4	14	15	0
特別活動	社会性及び自主的実践的な態度の育成	教育目標を踏まえ、創意工夫を凝らしたホームルーム活動、学校行事の推進	学校ならではの多様な活動、行動を通じて様々な経験をし、自己発見をするとともに他人への思いやりを深める。	6	26	2	1	7	20	9	0
		生徒理解	個別面談の充実	3	22	8	1	6	19	9	1
生徒指導	モラルの育成	マナーや社会的規範意識の育成	時・場所・状況に応じた言動を常に求めている。	8	20	7	0	6	23	5	1
	いじめ防止	いじめの未然防止	いじめの概念が多様化しているなかで、人権教育・状況把握・情報の共有など、全体で取り組み、未然に防ぐ。	4	23	6	0	7	21	5	1
	安全教育の充実	生徒の防犯意識と安全対応能力の向上	安全及び生命の尊さを意識させ、規範意識を高める。	5	22	5	1	7	21	5	1
	責任感の育成	役員・委員・係として責任ある行動	仕事に対する責任感の育成と校舎の美化の務める。	8	21	4	0	2	26	5	1
部活動	生徒の自発的・自主的な活動による学校生活の充実	指導方法の工夫・改善を図る	社会性・協調性・責任感・想像力・表現力・礼儀作法など、多岐にわたる指導。	9	16	9	1	5	24	5	0
進路指導	主体的に進路を選択し、自己実現を図る能力の育成。	進路希望達成のための指導の充実。	進路ノート等を活用したガイダンスの計画・立案・実施。	3	22	7	0	5	22	6	3
	望ましい勤労観・職業観の育成。	就業に関わる体験的活動や計画的・体系的なキャリア教育の推進。	進路情報の提供及び模試・補習を効果的に利用し学力養成を目指す。	3	20	10	0	6	17	10	0
防災教育	防災意識及び防災対応能力の育成。	大規模地震等に対する防災能力の向上を図る。	防災計画の見直しと、効果的な防災訓練の検討。	2	18	15	0	5	17	12	0
		地域防災の担い手としての役割を果たせるよう地域と連携し防災の充実を図る。	県下一斉の防災訓練の大切さや内容の連絡。	0	12	21	2	0	21	11	3
環境教育	校舎内外の清掃を徹底し、学習と生活両面の環境維持に努める。	清掃分担区域の責任ある行動。	校舎内外の清掃を徹底させるための責任感の養成。	7	22	5	0	6	21	8	0
		ゴミ分別の円滑化を図る。	正しいゴミの分別ができるようにする。	6	22	6	0	7	20	7	1
		環境保全の重要性を認識させる。	環境保全の重要性を機会ある度に知らせる。	4	22	8	1	4	17	13	1
教育課程	生徒の実態等を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施。	新教育課程の編成。	本校の実態に即した特色ある教育課程の編成。	2	15	16	1	3	15	10	6
合計				110	396	158	10	110	391	163	22

<注意> 今年度の重点目標及び各項目の評価について、該当する評価に○印を記入し、次年度の取り組みも記入すること。

【評価の基準】

A: 十分目標を達成することができた。

B: おおむね目標を達成することができた。

C: あまり目標を達成することができなかった。

D: ほとんど目標を達成することができなかった。